

6月1日から7日は「HIV検査普及週間」です

県と中核市では、この週間に合わせ、保健所でのHIV（エイズ）・性感染症に係る検査や相談の体制を拡充するとともに、周知啓発を行います。

近年、国内におけるHIV・性感染症感染者は増加しており、特に梅毒感染者の増加は著しく、令和4年の本県の報告数は過去最多の141件でした。

検査や相談に関する秘密は厳守され、無料かつ匿名で受けることができます。感染への不安をお持ちの方は、あなた自身と家族やパートナーのために、この機会に検査を受けましょう。

1 各保健所における普及週間（6/1～6/7）での拡充内容

- (1) 平日の検査枠の拡充（HIV・梅毒・その他性感染症）
- (2) 夜間における検査の再開

検査の種類	検査枠を拡充する保健所	夜間検査を実施する保健所
HIV (結果は当日伝達)	渋川 桐生 藤岡 館林 吾妻 前橋市	伊勢崎 安中 富岡 太田 高崎市
梅毒 (結果は当日伝達)		高崎市
その他性感染症 (結果は後日伝達)	利根沼田 高崎市	—


※検査は事前予約が必要です。保健所により検査日時が異なりますので、詳細は以下のホームページをご覧ください。（URL：<https://www.pref.gunma.jp/page/2561.html>）

2 各保健所における普及啓発活動

企業や学校にティッシュやリーフレットの配布、のぼり旗の掲示、FM放送等

3 昭和庁舎のライトアップ

レッドリボンにちなみ、6月1日～7日までの間、昭和庁舎を赤くライトアップします。



レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、エイズのことをみんなで考えましょう。
出典 <https://api-net.jfap.or.jp/lot/whatRedribbon.html>